

2014年度 夏期スクーリング概要 文化情報専攻

2014年7月19日(土)～21日(月・休日)

東京 市ヶ谷 日本大学会館 201会議室

「文化情報論特講」(担当:松岡直美)

講義概要: グローバリゼーションの時代における「文化」とその研究について、比較文学の変遷と近年の展開に即して論じる。トピックとしては、ポストコロニアリズム、カルチュラル・スタディーズ、多元文化主義、多文化共生、世界文学、文化翻訳等。文化研究および言語教育研究の領域において、文化情報の理解と伝達、そして創造に携わるにあたっての基礎知識と思考パラダイムの修得を目指す。

教材: 以下の指定教材を事前に読んでおくことが望ましい。

デイヴィッド・ダムロッシュ『世界文学とは何か?』(2003)

アンソニー・ピム『翻訳理論の探求』(2010)

夏期スクーリング概要

1) 文化情報分野における研究について

7月19日(土)

- ① 11:00-12:10 「文化情報分野における研究—対象と方法—」
(昼食 50分間)
 - ② 13:00-14:10 「論文の書き方 I—情報検索・収集・分析—」
 - ③ 14:20-15:30 「論文の書き方 II—学術論文の執筆—」
 - ④ 15:40-16:50 「プレゼンテーション」
 - ⑤ 17:00-18:10 「研究倫理」(3専攻合同講義)
- 終了後:懇親会

2) 文化情報論概説 (担当者・担当時限・講義題目については交渉中)

7月20日(日)

- ① 9:40-10:50 「言語教育と異文化間能力」
 - ② 11:00-12:10 「古代日本人と外国語—東アジアの異文化と言語の出会い—」
(昼食 40分間)
 - 12:50-13:00 奨学金授与式 (ロバート・F・ケネディ奨学金, 古田奨学金, 坂東奨学金) (601A 会議室)
 - ③ 13:00-14:10 「C. S. ルイスの世界」
 - ④ 14:20-15:30 「日中の漢字文化」
 - ⑤ 15:40-16:50 「言語学習ストラテジー —古代人から現代人まで—」
- 終了後:同窓会

3) 「文化情報論特講—比較文学」

7月21日(月・休日)

- ① 9:40-10:50 「文化研究の変遷」アメリカ比較文学会編『グローバル化時代における比較文学』(2006)
 - ② 11:00-12:10 「グローバル文化へのアプローチ」ダムロッシュ『世界文学とは何か?』(2003)
(昼食 50分間)
 - ③ 13:00-14:10 「世界文学としての日本文学」
 - ④ 14:20-15:30 「翻訳パラダイム」ピム『翻訳理論の探求』(2010)
 - ⑤ 15:40-16:50 「文化翻訳」ピム『翻訳理論の探求』(2010)
- 終了後:懇親会

※文化情報専攻必修科目「文化情報論特講」の履修者は、夏期か冬期、いずれかのスクーリングに必ず参加してください。

※講義の時間帯・講義内容は都合により変更になる場合もあります。

※3日間とも講義日程終了後に3専攻合同の懇親会があります。会場は203会議室。2年次生、同窓生も参加しますので、学習相談などされるとよいでしょう。2日目7月20日(日)は同窓会です。